

お盆を過ぎてもまだまだ暑い日が続いています。今年は特に猛暑のようです。それでも空を見上げてみれば、雲の様子からだんだんと秋に近づいている気配を感じます。夜になると、虫たちの大合唱が聞こえてきます。

＜雨雨フレフレ～雨乞い～＞

香川県は日照時間が長く温暖である反面、降水量が少なく、昔から水不足に悩まされてきた地域です。平成 17 年の大渇水を覚えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。七飯町から「友情の水」として計 15,000 本の「夢水氣」（2L ペットボトル）が三木町に送られ、各家庭に配布されました。

水不足に悩まされてきた香川県各地に数多く伝わるのが「雨乞い」です。

「滝宮の念仏踊」（綾川町）は菅原道真と法然が関わっているそうです。歴史を感じますね。三木町では、神山地区にある高仙神社が雨乞いの神様として知られています。また、三木町のシンボルである白山でも、わらの大きな竜をつかって、山頂の竜王神社まで運び上げて雨乞いを行ったそうです。

水と竜は深い結びつきがあります。竜は水神ともいわれ、水のあるところによく祀られています。田中地区の「二ツ池」の側には水神様を祀った「竜現社」があります。

お盆の風景

お盆の時期に、スーパーで見慣れない、紙で出来た白いものが吊り下げられて売られているのを見つけました。なんだろう?と思い、職場の方に聞くと、「盆灯籠」というもので、こちらの地域ではお盆の時期にお墓の周りに飾るそうです。

テレビのニュースでも、お墓参りの様子が伝えられ、白い紙の灯籠がたくさん飾られている映像が流れていました。地域によって、お盆の風習も異なるものですね。



写真をよく見てみると・・・祠の中に白いネコちゃんが！
守り神のようでした。

